

## ■ 荒川と二瀬ダム

荒川の流域は東京都、埼玉県にまたがり、河川延長173km、流域面積2,940km<sup>2</sup>、人口約975万人が暮らしており、首都圏にとって利水（水供給）上欠かせないばかりでなく、大洪水を引き起こせば甚大な被害を及ぼすことから、治水（洪水防御）上からも極めて重要な河川です。二瀬ダムは荒川の水源から約23km、河口から約150kmに位置しています。

## ■ 埼玉県内最初の多目的ダム

二瀬ダム荒川水系本川上流の埼玉県秩父市大滝地先に洪水調節、かんがい、発電を目的とした埼玉県内最初の多目的ダムとして昭和36年12月に完成し、ダム湖は、昭和37年5月に秩父宮妃殿下によって「秩父湖」と命名されました。

## ■ 55周年記念

二瀬ダム完成55周年を記念し、平成28年8月21日（日）二瀬ダム見てんべえツアー（見学会）＆魚釣り体験を実施しました。

【第1回】10時～13時 参加者 11名 【第2回】13時～16時 参加者21名



ダム内部へ→→



扉の先には→→



興味津々



コンジットゲート



ニジマス

豊かな自然を満喫！  
ダム湖の中で魚釣り体験

秩父漁業協同組合の皆さんに、ご協力をいただきました

## ペットボトルを使ったダム機能の実験



2016. 8. 21 1:01 PM

## 二瀬ダムに今も息づく 「昭和の技術」

昭和36年に完成した二瀬ダムには、あの「戦艦大和」を建造した呉海軍工廠の流れを汲む（株）呉造船所の技術が今も生きています。巨大なコンジットゲート、船のハッチのような扉、機械式の計器類など当時の製造品が持つ重厚なたたずまいに満ちています。



鉄蓋



圧着計



鉄扉